

R4 年度(2022年度) 意向調査の結果概要

1 回答状況及び病床の状況

構想区域名	回答状況								
	病院			診療所			合計		
	対象数	回答数	回答率	対象数	回答数	回答率	対象数	回答数	回答率
後志	15	15	100.0%	20	19	95.0%	35	34	97.1%

2 「病床機能報告制度」について

(1) 許可病床数

構想区域名	H28							R 4 (予定)						
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等(コロナ)	休棟等(コロナ以外)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等(コロナ)	休棟等(コロナ以外)	合計
後志	102	1,276	362	1,046※1		87	2,873	102	1,115	416	908	107	134	2,782

※1 北海道済生会小樽病院許可病床数に、済生会西小樽病院と統合後の慢性期120床を合算。

【参考】
別表

R 3						
高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等(コロナ)	休棟等(コロナ以外)	合計
102	1,151	356	863	244	103	2,819

(2) R4年度の報告内容

構想区域名	許可病床数							稼働病床数							非稼働病床数						
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等(コロナ)	休棟等(コロナ以外)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等(コロナ)	休棟等(コロナ以外)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等(コロナ)	休棟等(コロナ以外)	合計
後志	102	1,115	416	908	107	134	2,782	102	1,102	416	899			2,519		13		9	107	134	263

(3) 2025年の病床機能(予定)

構想区域名	2025年病床機能(予定)						
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	介護医療院等へ移行	合計
後志	102	1,142	521	922	63	10	2,760

(4)ー1 「病床機能の転換」、「病床の廃止」又は「2以上の医療機関による再編・統合」を予定・検討している医療機関

構想区域	医療機関名	設置者	転換・廃止・再編・統合の内容	R4 病床機能報告(予定)数						基金事業の 活用予定 (有に○)	
				高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等 (コロナ)	休棟等 (コロナ以 外)		合計
後志	医療法人 ひまわり会 札幌病院	医療法人	急性期病床42床のうち2床を回復期病床、3床を慢性期病床へ 転換		42	49	79			170	
	医療法人社団本間内科医院	医療法人	慢性期10床を介護医療院に転換予定				16			16	
	JA北海道厚生連倶知安厚生 病院	北海道厚生農業協同組合連合 会	現在2病棟ある急性期病棟について、令和6年以降の改築整備 時に回復期へ転換		110	54			8	172	○
	北海道社会事業協会余市病院	社会福祉法人北海道社会事業 協会	現在休床している慢性期7床を廃止予定		60	45	58		7	170	

(4)ー2 当該構想区域で過剰な病床機能に転換予定の医療機関

構想区域	医療機関名	設置者	転換の内容	転換の内容
後志				
		該当なし		

(5) (2)において「非稼働病床」を有する医療機関の理由と今後の見通し

構想区域	医療機関名	設置者	非稼働の理由	今後の運用見通し
後志	医療法人社団心優会 野口病院	医療法人	新型コロナ対応により人員配置の変更を行ったことから、3床を令和4年12月まで非稼働	令和5年1月から稼働
	医療法人 勉仁会 東小樽病院	医療法人	一人当たりの療養環境を改善するため、3床を非稼働 (このことによる人員配置の変更なし)	現状維持
	医療法人社団 ウェルネス望洋台医院	医療法人	1ベッド破損 2床部屋→1床部屋	現状維持
	医療法人 うのクリニック	医療法人	看護スタッフの確保が困難であること、又、現在入院中の患者様が介護介入が必要な方が増加のため。	職員が確保出来次第、今までの稼働率まで運用の予定
	医療法人社団大橋内科 胃腸科クリニック	医療法人	人員不足、採算性の問題	状況次第
	医療法人社団 松島内科	医療法人	コロナ禍による対策が困難であるため	未定
	三浦外科肛門科医院	個人	看護師が不足していること	人員が充足されれば、それに応じた稼働となります
	JA北海道厚生連倶知安厚生病院	北海道厚生農業協同組合連合会	看護職員の人員不足	令和6年度廃止予定
	北海道社会事業協会余市病院	社会福祉法人北海道社会事業協会	老朽化	廃止
	島牧診療所	市町村	人員不足で稼働させることができないため	現状維持
	寿都町立寿都診療所	市町村	人員不足及び受入れ人数のバランスを考慮	現状維持
	北海道社会事業協会岩内病院	社会福祉法人北海道社会事業協会	休止の病床を再開するために必要な医師、看護師の確保ができないため	医師、看護師の確保が難しく、目途が立たない
	医療法人社団 小林整形外科医院	医療法人	マンパワー不足	廃止の予定

3 今後担うべき役割

構想区域名	救急患者の受入れや手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う	近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する入院医療等の急性期医療を担う	近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、急性期経過後の在宅復帰に向けた医療の提供やリハビリテーションを行う。	長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う	かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う
医療機関数	2	13	7	6	6



病院名 ※「診療所」は除く	小樽市立病院	社会福祉法人 恩賜財団 済生会 支部北海道済生会小樽病院	社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院	医療法人 勉仁会 東小樽病院	
	小樽掖済会病院	医療法人社団 北匠会 小樽中央病院	医療法人 北光会 朝里中央病院	医療法人社団 三ツ山病院	
		J A 北海道厚生連俱知安厚生病院	医療法人 ひまわり会 札樽病院	医療法人社団心優会 野口病院	
		社会福祉法人北海道社会事業協会余市病院		医療法人社団青優会 南小樽病院	
		社会福祉法人北海道社会事業協会岩内病院		医療法人静和会昆布温泉病院	

病院の改築予定等に関する調査票

No.	圏域名	病院名	設置者	建築年度	築後年数	改築予定 時 期	基金活用 意 向	病床機能報告(予定)における許可病床数 (R4.7.1)						合計
								高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等 (コロナ)	休棟等 (コロナ以 外)	
1	後志	医療法人社団 三ツ山病院	医療法人	H3	31年	R4	-				81			81
2		医療法人社団心優会 野口病院	医療法人	S48	49年	R9	-				128			128
3		医療法人社団 本間内科医院	医療法人	S56	41年	R5	-				16			16
4		J A 北海道厚生連倶知安厚生病院	北海道厚生農業協同組合連合会	S40	57年	R6	○		110	54			8	172